

科目	
2011年度カリキュラム	フィールド・スタディ
2017年度カリキュラム	APMフィールド・スタディ
申請可能セメスター	3-7セメスター*詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	持続可能な地域の価値づくり：長野県飯田市における調査（藤本 武士）

1. プログラム名	持続可能な地域の価値づくり：長野県飯田市における調査							
2. 担当教員	藤本 武士							
3. 実習地	長野県飯田市, 日本							
4. 開講年度	2019年度							
5. 開講時期	夏セッション							
6. 開講言語	日本語 [実習で使用する場合があります] ・日本語							
7. 単位数	2 -セメスターの登録可能単位数の上限に含まれません。							
8. プログラム概要	現場から、環境・観光・産業・住民自治など地域づくりのあらゆる課題を勉強する。							
9. プログラムのねらい	長野県飯田市は、地域経済の活力向上を踏まえた、産業振興政策やまちづくり政策が多面的に展開されている。そのために、地域経済活性化プログラム、観光振興の計画も策定されている。このフィールド・スタディにおいては、行政計画やローカルな市の現状などを踏まえ、多様な産業資源・地域資源を擁する地域における産業振興策について、国際的にかつ多面的に考察する。また、他大学の学生と共に、「持続可能な地域づくり」がどのようなものであるかを探る。							
10. 参加費 (目安)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現地プログラム費 (現地交通費、宿泊費、一部食費を含む)</td> <td>¥32,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>¥32,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>[上記に含まれないもの]</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 国内旅行保険 ➤ 名古屋-飯田の高速バス ➤ 別府から名古屋までの交通費 ➤ 現地の一部の食費など雑費 		項目	金額	現地プログラム費 (現地交通費、宿泊費、一部食費を含む)	¥32,000	合計	¥32,000
項目	金額							
現地プログラム費 (現地交通費、宿泊費、一部食費を含む)	¥32,000							
合計	¥32,000							
11. 履修の目安	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域づくり政策・産業振興に関心のある学生の参加を推奨。 ■ 国際学生の参加を歓迎しますが、日本語の本や資料を読み書きする力と、討論に積極的に取り組む意識が求められる。 ■ 開講言語に関する履修条件は、カリキュラム(2017/2011)によって異なります。詳細は、学部履修ハンドブックを参照してください。 							

科目	
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ
2017 年度カリキュラム	APM フィールド・スタディ
申請可能Semester	3-7 Semester*詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	持続可能な地域の価値づくり：長野県飯田市における調査（藤本 武士）

	<p>■ その他の申請条件は、募集要項を参照してください。</p>
12. 到達目標	<p>■ 地域づくり・産業振興と企業経営の関連性を理解し、各自の課題に対しての問題発見と提案できるようになること</p> <p>■ フィールドワークにより研究を進める方法を身に付けること：効果的効率的調査計画を立てる、現地での専門家講演や聞き取り調査、アンケートからファーストハンドの情報を得る、文献資料と現地調査の情報を用いて自分の論点を論述</p> <p>■ 他大学学生とのコミュニケーションを通して、多様な視点から課題にアプローチすること</p> <p>■ 各専門の教員の指導を受け、アカデミックな視野を広げようになること</p>
13. 授業方法	<p>事前授業: 大学での講義と参考資料に基づきグループ討論</p> <p>現地調査: 大学の専門性(大学教授による講義・指導・評価)と飯田市でのフィールドワーク(組織文化・地域拠点・能力開発などについて、地域づくり実践者による講義・地域づくり団体への聞き取り調査やホスピタリティ・ビジネスなど)の組み合わせによる。専門家による講義と指導、フィールドワーク(施設の見学)、アンケート調査・聞き取り調査、また、現地イベントなどを通じ現地文化の事業運営を理解する。最終日にそれぞれのグループ(学生)による報告会を実施する。</p> <p>事後学習: 現地で得た情報をとりまとめ、グループレポートと個人学習感想文を作成する</p> <p>[多文化協働学修に関する環境と手法]</p> <p>国際と国内学生が共同に参加し、さらに、他大学学生とのコミュニケーションを通して、多様な視点から地域づくりの課題を勉強する環境を提供する。さらに、専門の異なる大学教授による講義・指導・評価と飯田市でのフィールドワークの組み合わせ、フィールドワーク(施設の見学)、アンケート調査・聞き取り調査など多様な手法で協働学修を促す。</p>

科目	
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ
2017 年度カリキュラム	APM フィールド・スタディ
申請可能セメスター	3-7 セメスター*詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	持続可能な地域の価値づくり：長野県飯田市における調査（藤本 武士）

14. スケジュール	[事前授業]		
	日程	時限	内容
	7月10日(水)	5 限	持続可能な地域づくり・産業づくりの概念及び課題を学ぶ
	7月24日(水)		南信州・飯田の事例と政策を予習
			フィールド調査計画作成：調査目的、リサーチクエスション及び具体的質問、フィールド調査のマナー等を考える
	[現地での実習]（訪問先の都合により一部変更される場合があります。）		
	日程	内容	
	8月4日(日)(13:00~)	オリエンテーション 他大学学生との交流、混成チームを発表 いいだ人形劇フェスタと市民運営 都市と農村の関係(ワーキングホリデー) 農家との交流体験、ヒアリング(農家民泊)	
	8月5日(月)~ 6日(火)	飯田における取組に関する講義や調査 (公民館活動、人形劇フェスタ、環境モデル都市、 産業づくり...ほか)	
	8月7日(水)(~12:30)	グループワーク・発表準備と最終発表会	
*注意：以上の概要は過去に実施したプログラムに基づいたものであり、 2019年度の実施プログラムは、訪問先の都合により一部内容が変更になる 可能性がある。予めご了承ください。			
[事後授業] ※レポート提出			
日程	時限	内容	
8月30日(金) 〆切 manaba course で提出		① 各自の個人調査レポート ② 各自の感想文 ③ 現地発表 PPT の修正版	

科目	
2011年度カリキュラム	フィールド・スタディ
2017年度カリキュラム	APMフィールド・スタディ
申請可能セメスター	3-7セメスター*詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	持続可能な地域の価値づくり：長野県飯田市における調査（藤本 武士）

15. 成績評価方法	<p>すべての事前学習、現地調査、事後学習への出席と、最終レポートの提出が必要である。欠席した場合は単位認定をしない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 事前学習への積極的な取り組みと調査計画：30% ■ 現地調査での積極的な取り組みと収集した情報や記録の正確さ：20% ■ 現地最終発表会での積極的な取り組み：20% ■ 最終提出物①②③：30%
16. 学生への要望事項	<p>1. 現地への移動について(例)</p> <p>夏セッションのスケジュールと重複しないよう、各自調整してください。</p> <p>別府から長野県飯田市へ向かう場合、基本的には名古屋駅で飯田行き的高速バスに乗り換える。別府から名古屋までの移動はいくつの案がある。詳細の時刻は各自に調べてください。例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 前日に別府を出発するフェリーで大阪へ、その後に高速バスに乗り換える。 ● 前日に別府から福岡へ、LCCで福岡空港から中部国際空港セントレアへ移動する。 ● 前日に大分空港から中部国際空港セントレアへ直行便で移動する。 <p>別府市以外の場所から現地へ向かう場合は、初日正午頃から始まるオリエンテーションに参加できるよう、各自交通機関を利用して現地へ向かってください。</p> <p>2. 参加にあたってのその他の留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 暑い時期に室外活動もあるため、良好な健康状態と十分な体力が必要。 ◆ 現地に行くだけでなく、事前学習で資料の読解に真剣に取り組む、事後学習で情報をまとめることが必要。 ◆ グループワークが基本であり、同時期に飯田市を訪問する他大学の学生との交流(発表など)がある。積極的に人と接する姿勢が必要。 <p>外部のたくさんの方々の協力のもとに実行するプログラムであるため、大人として責任と誠意のある行動が求められる。</p>
17. 教科書	参加学生に個別連絡をする。
18. 参考文献	参加学生に個別連絡をする。
19. 上記以外	参加学生に個別連絡をする。

科目	
2011 年度カリキュラム	フィールド・スタディ
2017 年度カリキュラム	APM フィールド・スタディ
申請可能Semester	3-7 Semester*詳細は募集要項をご覧ください。
プログラム名	持続可能な地域の価値づくり：長野県飯田市における調査（藤本 武士）

20. その他	<ul style="list-style-type: none"> • 募集人数: 15 • 最少実施人数: 5 • 派遣地域安全情報: レベル 0
---------	--